

# 長崎県高等学校総合体育大会弓道競技 競技規則

平成 6年 6月制定  
平成 8年 6月改定  
平成 12年 6月改定  
平成 16年 12月改定  
平成 18年 1月改定  
平成 26年 12月改定

## 1 競技種目及び人員

- 種目 近的競技  
種別 男女団体戦・個人戦  
人員 (1) 団体 監督1名，選手5名，補欠2名，計8名  
(2) 個人 団体競技の選手（補欠を除く）  
チームの組めない学校に限り，監督1名，選手4名以内  
何れも，（公財）全国高等学校体育連盟弓道専門部に個人登録している者に限る。

## 2 射法 立射とする。

## 3 競技方法 予選決勝方式とする。

### 団体競技

- ア) 団体一次予選は第1日目に四ッ矢2立。第2日目午前に四ッ矢1立を行う。  
チーム計60射（各自12射×5人）の総的中本数上位16チーム同中までを通過とし、  
二次予選進出とする。
- イ) 団体二次予選は第2日目午後に四ッ矢2立，チーム計40射（各自8射×5人）で行う。  
2立総的中本数上位7チームを決勝進出とする。
- ウ) 同中により決勝進出チームが決定しない場合は，各チーム一人1本1チーム計5本の競  
射を決定するまで行う。
- ※（例）予選7位のチームが3チームでた場合。  
→予選1位から6位までは予選通過。該当3チームで競射を行う。
- エ) 決勝は，リーグ戦とする。決勝リーグの組み合わせの規定は別に定める。
- オ) 決勝リーグは総当たりで，1回対戦する。
- カ) 決勝リーグの1試合は各チーム一人四ッ矢1立，1チーム計20射を行い総的中数の多い  
方を勝ちとする。同中の場合は各チーム一人1本，1チーム計5本の競射を勝敗が決定  
するまで行う。
- キ) 順位決定は，勝ち数が多いチームを上位とする。勝ち数が同じ場合は，決勝リーグでの  
総的中本数（同中競射を除く）の多い方を上位とする。それも同じ場合は予選からの累  
計220射的的中本数が多い方を上位とする。それも同じ時は各チーム一人1本1チーム  
計5本の競射を決定するまで行う。
- ク) 決勝リーグの3位2チームの勝ち数が同じであるときは，キ)の項によらずともに3位  
とする。但し，3チーム以上の場合は，キ)の項により順位を決定する。
- ケ) 行射所要時間を6分以内とする。  
5分30秒で予鈴をならす。6分で本鈴を鳴らす。これより後に離れた矢は失格とする。  
（予鈴がなくても，順立ちをくずしてはならない。）
- コ) 弦切れ等の事故が生じた場合にはそのチームのみ2分間延長する。  
\*1 行射所要時間とは，進行係の「始め」の合図によって始まり，最後の選手の離れ  
までとする。  
\*2 弦切れの際の弦の張り替えは，そのチームの監督，又は補欠が行うものとする。
- サ) 後立ちの者は，前立ちの者以前に矢を発してはならない。
- シ) チームが本座に入ったとき，間に合わなかった選手はその立ちのみ欠員とし，チームは  
欠員のままで団体と見なす。

### 個人競技

- ア) 各選手計12射（四ッ矢3立）を行う。
- イ) 団体出場者は一次予選の個人成績を，個人競技の成績とする。
- ウ) 順位決定は，総的中本数の多い順とする。
- エ) 同中の場合は，射詰により順位を決定する。
- オ) 行射所要時間は団体競技に準じる。  
他チームとの混成になるので，本鈴で失格とはしないが，立ちの進行を著しく遅らせて  
いると認められた者は嚴重に注意する。それでも改めないときは失格にすることがあ  
る。

- カ) 後立ちの者は、前立ちの者以前に矢を發してはならない。
- キ) 本座に入ったとき、間に合わなかった選手はその立ちのみ欠員とする。

#### 4 選手の変更、及び交代

##### 一次予選

- ア) 監督会議の時、団体選手登録者と団体補欠登録者の変更を認める。  
この変更は補欠登録選手一人に対し1回限りとする。  
この場合、変更前の選手の位置に変更後の選手が入る  
変更後の団体選手登録者は、以後団体補欠として登録する。
- イ) 競技開始後、補欠1名につき1回に限り団体戦選手との交代を認める。この交代は、1件ずつ行っても2件同時に行ってもよい。
- ウ) イ)の項の交代は出場30分前までとし、所定の用紙で届け出ること。
- エ) イ)の項で交代した選手の団体戦再出場は認めない。
- オ) 所定の交代をした後に選手に事故が生じ欠場する場合は、欠員のまま団体とする。
- カ) 立順の変更は認めない。

##### 二次予選・決勝リーグ

すべての立を独立した試合と見なし、選手の交代は一次予選の規定に準ずる。(監督会議における変更後を基本とし、各立ち毎にイ)の交代ができる。)但し、決勝リーグにおいては交代用紙の提出は不要とする。

#### 5 競技順序 競技は次の順序で行う。(男子、女子の順序は隔年交代とする。)

- 第1日目 団体一次予選1立目(四ッ矢)、個人1立目(四ッ矢)  
団体一次予選2立目(四ッ矢)、個人2立目(四ッ矢)
- 第2日目 団体一次予選3立目(四ッ矢)、個人3立目(四ッ矢)  
個人順位決定競射(必要な場合)  
個人表彰式  
団体二次予選(四ッ矢×2立)  
決勝進出校決定競射(必要な場合)
- 第3日目 決勝リーグ  
団体順位決定競射(必要な場合)  
団体表彰式

#### 6 決勝リーグの組み合わせと試合順について

- ア) 決勝の立番は二次予選の総的中本数の多い方から1・2・3・4・5・6・7とする。  
同中の場合は抽選とする。
- イ) 決勝リーグは総当たり1回とする。
- ウ) 試合順は次の通りとし、男子・女子の各対戦を交互に行う。
- エ) 第1・2試合終了後、休憩を入れる。

	第1射場	第2射場		第1射場	第2射場
第1試合	1	7	第12試合	4	2
第2試合	6	2	第13試合	7	6
第3試合	3	5	第14試合	1	4
第4試合	4	7	第15試合	3	2
第5試合	6	1	第16試合	7	5
第6試合	2	5	第17試合	1	3
第7試合	3	4	第18試合	2	7
第8試合	5	6	第19試合	5	4
第9試合	7	3	第20試合	6	3
第10試合	4	6	第21試合	2	1
第11試合	5	1			

#### 7 弓具について

(公財)全日本弓道連盟の規定に定める弓具を使用すること。点検を行う。

#### 8 その他の競技規定

その他は「全国高等学校体育連盟弓道競技規則」及び「全日本弓道連盟競技規則」による。ただし、本規定と異なっている場合は本規定を優先する。